

Initiation

イニティエーション

知っておきたいキリスト教のことば (157)

入信 にゆうしん

「入信」とは、人がある宗教共同体に入ることをいいます。その際には儀式などをおこなうことがあります。

キリスト教会では洗礼や信仰告白によって、入信を希望する方を受け入れることが多いようです。日本聖公会の祈祷書には、「入信の式」(268～294 頁)があります。その最初に、このように書かれています。

わたしたちは、水と聖霊の洗礼によってキリストの死と復活にあずかり、祈りと按手により聖霊によって強められ、神の民として教会の交わりに迎え入れられる。

そこには、「洗礼志願式」、「洗礼堅信式」、「条件洗礼式語」、「緊急洗礼」、「堅信式」という式文が載せられています。たとえば幼児または子どもの場合、「洗礼堅信式」の洗礼のところまでをおこない、時期が来たら「堅信式」を受けるのが良いとされます。その時期とは、「道理をわきまえることのできる年令」と祈祷書には書かれています。

また成人であれば、主教がいる日に「洗礼堅信式」を受けるか、「洗礼式」だけをおこない後日主教が巡回する日に「堅信式」をおこなうか、というパターンがあります。「堅信式」ってなに？と思われる方は、この HP の「堅信」の項をどうぞお読みください。

そして「条件洗礼式語」は、父と子と聖霊のみ名による洗礼を受けたことが明らかでない人に使う授洗の式語です。「幼児洗礼を受けたとは思うけど」、「イエス様の名によってだったような」という場合に用います。

最後の「緊急洗礼」については、司祭でなくてもおこなうことができる式ですので、一度見ておかれてもいいかもしれません。

次回は「ヌンク・ディミッティス」です。お楽しみに。



「洗礼盤」
奈良基督教会

ペトロの言葉を受け入れた人々は洗礼を受け、その日に三千人ほどが仲間に加わった。

(使徒言行録 2 章 41 節)

